iアプリ／iウィジェット

iアプリ

iアプリ……270
サイトからiアプリをダウンロードする……<ダウンロード>270
iアプリを起動する……<iアプリ起動>271
iアプリを自動実行する……<自動起動設定>287
iアプリコールを利用する……288
iアプリコールの設定を行う……288
サイトやiモードメールからiアプリを実行する……<iアプリTo機能>289
iアプリ待受画面を設定する……<iアプリ待受設定>289
iアプリを管理する……290
microSDカード内のiアプリ使用データを表示する……<iアプリ使用データ(コンテンツ移行対応)>291
iアプリのさまざまな機能を利用する……291

iウィジェット

iウィジェット……293
iウィジェットを利用する……293
iウィジェットの設定を行う……293
ウィジェットアプリを起動する……<ウィジェットアプリ起動>294
ウィジェットアプリをダウンロードする……294

iアプリ

「iアプリ」とは、iモード対応携帯電話用のソフトです。iモードサイトからさまざまなソフトをダウンロード※すれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。さらに、リアルタイム通信やiアプリコール（☞P.288）を用いた、多人数でのオンライン通信が可能なiアプリオンラインにも対応しており、対戦ゲームやチャットアプリなども楽しむことができます。また、iアプリにはiウィジェット（☞P.293）対応のものがあります。

※ iアプリのダウンロードおよびサイトへの接続には別途パケット通信料がかかります。

- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります（☞P.434）。
- iアプリの詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

ダウンロード

サイトからiアプリをダウンロードする

サイトからiアプリのソフトをダウンロードすると、FOMA端末のディスプレイ上で実行できます。

- 2Mバイトまでのiアプリをダウンロードできます。
- ソフトは100件（メール連動型iアプリは5件）まで保存できます。ソフトのサイズによっては、保存できる件数が変わります。

1 サイト表示中にソフトを選ぶ▶●

- iアプリダウンロード画面が表示され、ダウンロードが開始されます。
- ダウンロードの中止：i
- ダウンロード開始時や完了時に、FOMA端末のメモリの空き容量やダウンロードしたソフトによってメッセージが表示されることがあります。メッセージに従って操作してください。

- 電波状況などによりダウンロードが失敗したとき、途中までダウンロードしたデータを保存しておき、ソフト一覧から残りのデータをダウンロードできます。
- ダウンロード時にメモリの空き容量が不足したため古いソフトを削除したあとで、電波状況などによりダウンロードが失敗しても、古いソフトは復活できません。
- SSL／TLS対応のページからiアプリの情報やiアプリをダウンロード中は、［図］が表示されます。

選択したソフトがすでにFOMA端末に保存されているとき

- ソフトのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、ダウンロード（バージョンアップ）が開始されます。

おサイフケータイ対応iアプリのダウンロードができないとき

- ICカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応iアプリをダウンロードできないときがあります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください（ダウンロードするソフトによって一部のソフトが削除対象とならないときがあります）。またICカード内の状態によっては、表示されるソフトをすべて削除する必要があります。そのときは、表示される画面に従って全削除を行うことで、表示されたソフトを一括削除できます。なおソフトによっては一括削除できないものがあるため、お客様がソフトを起動して、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行う必要があります。
- ICカードロック中は、おサイフケータイ対応iアプリのダウンロードやバージョンアップができないときがあります。

メモリエリアについて

- データBOXとiアプリのエリアを共有しています。データBOXに保存されているデータのデータ量によっては、iアプリが保存できないことがあります。

■ メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードするときは、次の点にご注意ください。

- メール連動型ｉアプリをダウンロードしたとき、受信BOX、送信BOX、未送信BOXにメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名となり、変更できません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダは、5件まで保存可能です。
- 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、すでにソフト一覧にあるとき、そのメール連動型ｉアプリはダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダのみが残っており、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとしたとき、フォルダを利用できます。フォルダを利用しないときは、フォルダを削除して新規フォルダを作成できます。新規フォルダを作成しないときは、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリを残したままで、対応するメール連動型ｉアプリ用フォルダは削除できません。メール連動型ｉアプリがないときはフォルダを削除できますが、受信BOX、送信BOX、未送信BOXに作成されたフォルダがまとめて削除されます。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る
＜ソフト情報表示設定＞

1 カスタムメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[ソフト情報表示設定]▶[ON]

- ダウンロードを開始すると、ソフト情報が表示されます。

ｉアプリ起動

ｉアプリを起動する

- ソフトによっては、起動したときに自動的に通信するものがあります。あらかじめ通信設定(☞P.274)で設定できます。
- よく使うｉアプリのソフトを、あらかじめショートカットメニューに登録しておいて実行することもできます(☞P.387)。

1 カスタムメニューで[ｉアプリ]▶[ソフト一覧]

- おサイフケータイ対応ｉアプリのみを表示:カスタムメニューで[おサイフケータイ]▶[ＩＣカード一覧]
- GPS対応ｉアプリのみを表示:カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図・GPS]▶[地図・GPSアプリ]
- DCMXクレジットアプリの起動:カスタムメニューで[おサイフケータイ]▶[DCMX]
- ソフト一覧画面の表示変更:ソフト一覧画面で
  - 押すたびに、グラフィカル表示→アイコン表示→リスト表示の順に切り替わります。
  - リスト表示のときは、カード情報設定が完了していないおサイフケータイ対応ｉアプリには、[圏]が表示されます。
- 選んでいるソフトの設定状態によって、画面上部に次のマークが表示されます。

ソフト一覧画面

設定状態マークの意味

α(青色)	ｉアプリ待受画面の機能を持ったソフト
α(紫色)	ｉアプリ待受画面に設定されているソフト
α AUTO(青色)	自動起動の機能を持ったソフト
α AUTO(紫色)	自動起動が設定されているソフト
SSL	SSL／TLS通信でダウンロードしたソフト
DX	ｉアプリDXのソフト
	メール連動型ｉアプリのソフト
	通信する機能を持ったソフト
SD	ｉアプリ使用データをmicroSDカードに保存できるソフト
	FOMAカードセキュリティ機能が設定されているソフト

次ページへ続く▶▶

おサイフケータイ対応ｉアプリのソフト	
GPS対応ｉアプリのソフト	
途中までダウンロードしたソフト	
ｉCお引っこしサービスを利用して移し替えたあとのソフト（☞P.296）	

2 実行するソフトを選ぶ▶●

- ソフトによってメッセージが表示されることがあります。メッセージに従って操作してください。

- ｉアプリのダウンロード時に使用したFOMAカードと同じFOMAカードを挿入していないと実行（起動）できないｉアプリがあります。
- ソフト実行中にアラーム（アラーム／スケジュール／視聴予約／録画予約）で設定した時刻になると、ソフトは中断され、アラーム画面が表示されます。アラーム画面を終了すると再開されます。ｉアプリによっては、アラームが動作したときにソフトを終了するものもあります。
- メール連動型ｉアプリは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXからも起動できます。各BOX一覧からメール連動型ｉアプリフォルダを選択してください。
- ｉアプリによっては、起動時にソフトのバージョンが更新されていたときに確認画面が表示され、バージョンアップできるものがあります。
- ｉアプリによっては、ｉアプリ使用データをmicroSDカードに保存できるものがあります。保存したｉアプリ使用データは、ｉアプリ使用データ一覧で確認できます。また、ｉアプリ使用データを利用するソフトは、ｉアプリ使用データの情報表示で確認できます（☞P.291）。
- ｉアプリ使用データをmicroSDカードに保存するときやmicroSDカードから削除するときに、microSDカードや電池パックを抜くと、microSDカード内のｉアプリ使用データを参照できなくなることがあります。その場合は、microSDカードをSH-06Aでフォーマット（☞P.354）することをおすすめします。なお、microSDカードをフォーマットすると、ｉアプリ使用データを含むすべてのデータが消去されますのでご注意ください。
- microSDカードに保存したデータは、他の機種で利用できないときがあります。
- 同時に起動している他の機能がmicroSDカードを使用している場合は、ｉアプリからmicroSDカードの読み書きをできないときがあります。
- 2in1のモードを［Bモード］に設定しているとき、メール連動型ｉアプリは利用できません。

ｉアプリDXを起動するとき

- ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するために通信設定にかかわらず通信するものがあります。通信する回数やタイミングは、ソフトにより異なります。
- 日付・時刻を正しく設定していないときは、有効性の確認は実行されずソフトは起動できません。
- ソフトが無効になったとき、有効性を確認できるまではソフトを起動できません。

■ ソフト一覧画面のサブメニュー操作

［ソフト情報表示］

［バージョンアップ］ ☞P.290

［削除］

▶［1件削除］▶［はい］

▶［選択削除］▶ソフトを選ぶ▶●▶▣▶［はい］

▶［全件削除］▶端末暗証番号を入力▶●▶［はい］

［待受画面設定］▶［はい］

- ｉアプリ待受画面設定の詳細については☞P.289

［待受画面通信設定］▶設定を選ぶ▶●

- ｉアプリ待受画面から通信するかどうかを設定します。

［地図設定］▶設定を選ぶ▶●

- 地図・GPSメニューの地図や待受タッチランチャの［◎］、各機能の位置情報から［地図を見る］を選択したときに起動するGPS対応ｉアプリを設定します。

［ソフト利用設定］ ☞P.274

［番組表ボタン設定］▶設定を選ぶ▶●

- ワンセグから起動する番組表ｉアプリを設定します。

［ソート］▶ソート方法を選ぶ▶●

[クイック検索用アプリ登録]

▶[クイック検索用地図登録]▶設定を選ぶ▶●

- クイック検索の[地図検索(文字入力)]、[地図検索(音声入力)]で起動するiアプリを設定します。

▶[iアプリ辞書登録]▶設定を選ぶ▶●

- クイック検索の[iアプリ辞書]で起動するiアプリを設定します。

[iアプリについて]

- iアプリの商標を確認します。

[ソフト情報表示]について

- 表示される情報はソフト名、バージョン、ソフト提供、ソフト保存領域、プロファイルバージョン、対応機種、SSL/TLS接続などです。
- 表示されるiアプリのソフト名は変更できません。

[削除]について

- 「iD設定アプリ」は削除できません。
- ソフトが待受画面設定やクイック検索用アプリ登録などで各種機能に設定されている場合、削除確認画面が表示されます。[はい]を選択すると削除されます。
- メール連動型iアプリを削除するとき、自動的に作成されたメールフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。なお、メールフォルダ内に保護されているメールがあるときはフォルダの削除はできません。
- 削除するソフトのiアプリ使用データがmicroSDカードに保存されているとき、iアプリ使用データを同時に削除するかどうかを選択できます。
- フォルダを残してメール連動型iアプリを削除した場合、フォルダ内のiモードメールを確認するときは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXでフォルダを選んで[カメラ]を押し、[iモードメール閲覧]を選択します。メール連動型iアプリを起動せずにフォルダ内のiモードメールを表示できます。
- おサイフケータイ対応iアプリによっては、お客様がソフトを起動してICカード内のデータを削除しないと、ソフトを削除できないものがあります。
- おサイフケータイ対応iアプリによっては、削除できないときがあります。
- ICカードロック中、おサイフケータイ対応iアプリは削除できないときがあります。
- メール連動型iアプリを含むソフトを全件削除する場合、メールフォルダ内に保護されているメールがあるときはフォルダの削除はできません。

[待受画面通信設定]について

- 待受画面設定されているソフトにのみ設定できます。

[クイック検索用アプリ登録]について

- [登録する]を選択した場合、iアプリによっては正しく動作しない旨のメッセージが表示されます。[確認]を選択します。

iアプリの設定を行う

■音量を調節する<iアプリ音量設定>

1 カスタムメニューで[iアプリ]▶[iアプリ設定]▶[iアプリ音量設定]

2 ○で音量を調節▶●

- iアプリによっては音の鳴らないものもあります。

■iアプリの省電力を設定する<省電力設定>

1 カスタムメニューで[iアプリ]▶[iアプリ設定]▶[省電力設定]▶[ON]

2 省電力モードになるまでの時間を選ぶ▶●

- iアプリ起動中に照明・省電力設定(☞P.105)に従ってディスプレイの表示がOFFになってから、設定した時間を過ぎるとiアプリを一時中断して電池の消費を抑えることができます。
- 次の動作中は、iアプリの省電力モードになりません。動作終了後、設定時間が経過するとiアプリの省電力モードになります。
  - ■iアプリからのパケット通信
  - ■iアプリからmicroSDカードへのアクセス

次ページへ続く▶▶

- iアプリの省電力モード中にソフトを再開するときは、いずれかのボタンを押し、再開確認画面で[確認]を選択します。
- iアプリ待受画面からiアプリを起動したときも省電力モードの対象になります。

iアプリの動作条件を設定する<ソフト利用設定>

- ソフトごとに次の動作条件を設定できます。

通信設定	iアプリ実行中に通信を行ってもよいかどうかを設定します。
iアプリTo設定	iアプリToで起動させるかどうかを設定します。
iアプリコール設定	iアプリコールを受信したときにiアプリの起動を許可するかどうかを設定します。
アイコン情報設定	iアプリ実行中に未読のメール・メッセージR/Fの有無、電池残量、圏内・圏外情報、マナーモードの設定状態などのアイコンの有無を、ソフトへ通知してもよいかどうかを設定します。
ソフトからの着信音/画像/メニューアイコン変更	iアプリから着信音や画面を変更するのを許可するかどうかを設定します。
変更ごとに確認画面	[ソフトからの着信音/画像/メニューアイコン変更を]を[許可する]に設定した場合に、変更時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
ソフトからの電話帳/履歴参照	iアプリから電話帳やリダイヤル/着信履歴を参照するのを許可するかどうかを設定します。
位置情報利用設定	GPS対応iアプリで位置情報を利用するかどうかを設定します。

- ソフトによって設定できない項目があります。

1 ソフト一覧画面でソフトを選ぶ▶ 📷 ▶[ソフト利用設定]

2 設定する欄を選ぶ▶ ●

3 設定を選ぶ▶ ●

- 続けて他の動作条件を設定:操作2～3をくり返す

4 i

[通信設定]について

- [通信しない]に設定すると、動作しないときやタイムリーな情報提供ができないときがあります。また、起動しないソフトもありますので、ご注意ください。
- iアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由して送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります(「iアプリで利用する画像」とは、起動中のソフトからカメラ機能を起動して撮影した画像、起動中のiアプリから赤外線通信機能を利用して取得した画像、起動中のソフトからデータBOXを参照して取得した画像です)。

[iアプリTo設定]について

- 起動するソフトは、サイト、iモードメール、メッセージR/F、画面メモやトルカによって決まっています。指定のソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

[iアプリコール設定]について

- ソフトによっては、iアプリコールの設定が有効にならないことがあります。

[アイコン情報設定]について

- アイコン情報が必要なソフトのとき、[利用しない]に設定すると動作しないことがあります。
- アイコン情報設定を[利用する]に設定すると、未読のメール・メッセージR/F、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号」と同様にインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるときがあるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

[ソフトからの電話帳/履歴参照]について

- [許可しない]に設定すると、ソフトによっては利用できないものもありますので、ご注意ください。

モーショントラッキング対応のアプリについて

FOMA端末は、サブカメラの認識技術を使用してｉアプリを操作（FOMA端末を傾けたり振ったり）する「モーショントラッキング」に対応しています。

- 次のような場合はご利用になれないことがあります。
  - サブカメラのレンズが汚れているとき
  - 着用している服が背景と似通っているとき
  - 移動中など、背景が一定していないとき
  - 暗い場所や背景が明るすぎる場所にいるとき

警告

モーショントラッキング対応のアプリは、FOMA端末を振ったりして遊びます。
振りすぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損などにつながる可能性があります。
遊ぶ際は、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振りすぎず、周囲の安全を確認して操作しましょう。
モーショントラッキング対応のアプリはサブカメラを使用して動作を検知します。操作中は指でサブカメラを隠さないようにご注意ください。

ｉアプリタッチ対応のアプリについて

ｉアプリの対戦ゲームなどをする際に、ｉアプリからの操作を行ったあと、ｉアプリタッチ対応の他のFOMA端末とマークを重ね合わせることで、簡単にBluetooth登録を行い対戦することなどができます。

- ＩＣカードロック中は、ｉアプリタッチを利用できません。
- 市販のBluetooth対応ヘッドセットなどのBluetooth機器を接続しているときは、ｉアプリタッチを利用できない場合があります。接続中のBluetooth機器との接続を解除してからご利用ください。

バーチャルキーについて

バーチャルキー対応のｉアプリを実行中は、バーチャルキー（カーソルキー、ファンクションキー、決定キー、数字キー、CLRキー）を表示できます。バーチャルキーをタッチして、ｉアプリ内のメニューや項目を選択してください。

1 ビューアポジションでｉアプリ実行中に画面をタッチ

- バーチャルキーが表示されます。

- タッチ操作に対応したｉアプリなどバーチャルキー非対応のｉアプリでは、バーチャルキーが表示されません。
- 表示されるキーは、ソフトにより異なります。
- ｉアプリによっては、バーチャルキー表示中、通常のタッチ操作ができないことがあります。

■ バーチャルキーの操作

[○]	選択した項目を決定します。※1
[↖]、[↑]、[↗]、[←]、[→]、[↙]、[↓]、[↘]※2	カーソルを移動します。
[i]、[📷]、[✉]、[📖]※3	操作ガイダンスの機能を実行します。
[CLR]※3	１つ前の画面に戻します。
[Num ON]	数字パネル[１]～[９]、[０]、[✱]、[＃]を表示します。非表示にするときは[Num OFF]をタッチします。
[KEY OFF]	バーチャルキーを非表示にします。画面をタッチするとバーチャルキーが表示されます。ソフトによっては、[KEY ON]と表示される場合があります。

※1　ｉウィジェットでは、画面下部中央の決定キーで決定します。
※2　ｉウィジェットでは、[↖]、[↗]、[↙]、[↘]は表示されません。
※3　ｉウィジェットでは表示されません。

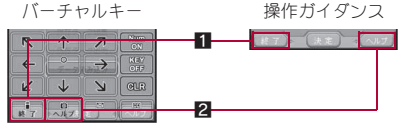
次ページへ続く▶▶

操作ガイダンスについて

iアプリに表示される操作ガイダンスは、次のように割り当てられたバーチャルキーをタッチして操作できます。

- 操作ガイダンスの有無や配置はソフトによって異なります。

例：iアバターメーカー



©2009 Acrodea,Inc./
©eitarosoft

1 バーチャルキーの[ ]をタッチして操作ガイダンスの[終了]を実行
2 バーチャルキーの[ ]をタッチして操作ガイダンスの[ヘルプ]を実行

iウィジェット利用中のバーチャルキーについて

iウィジェット利用中は、画面下部にも次のようなバーチャルキーが表示されます。選択／実行するメニューをタッチして操作できます。

- バーチャルキーの表記はソフトや状況によって異なります。

例：Google モバイル

ソフトを起動中に他のソフトを起動する

ソフトによっては、他のソフトを起動できるものがあり、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。

- 起動するソフトが指定されていないときは、画面の指示に従ってソフトを選択します。
- 起動するソフトがFOMA端末に保存されていないときは、ダウンロードする必要があります。

お買い上げ時に登録されているソフト

- お買い上げ時に登録されているソフトを削除後にもう一度ご利用になるときは、i Menu内のサイト［SH-MODE］からダウンロードできます（☞P.131）。

■ 西村京太郎サスペンス 新探偵シリーズ「京都・熱海・絶海の孤島 殺意の罠」

推理アドベンチャーゲームです。探偵となって事件現場周辺から証拠や人物などの情報を集め、容疑者や証人に推理をぶつけて事件を解決に導きます。

©2008
Kyotaro Nishimura.
All rights reserved.
©TECMO,LTD.2008

1 ソフト一覧画面で［西村京太郎サスペンスforSH］

- 本アプリの説明や利用規約、注意事項が表示されます。利用規約に同意し、注意事項を確認してください。

2 ［はい］

3 ［章頭から］▶［プロローグ］▶［はい］

- 調査画面では、現場に移動し、人物との会話や物を使って証拠を見つけることができます。推理画面では、真相を推理し、容疑者に証拠を提示して真相を見つけることができます。
- ゲームの重要な場面では、証拠や真相を見つけるためのミニゲームが発生します。ミニゲームを解くことでストーリーが大きく展開し、事件の解決に近づくことができます。
- プロローグ終了後、序章以降をダウンロードしてプレイすることができます。
- 本アプリを使用するには、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル／パケ・ホーダイ ダブルのいずれかのご契約が必要です。

■ ネット辞典

国語辞典や英和辞典などサイト上の辞典を使うことができます。

- クイック検索から起動することもできます(☞P.387)。
- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

1 ソフト一覧画面で[ネット辞典]

- はじめて起動したときは、注意事項が表示されます。注意事項を確認してください。次回起動時からは注意事項が表示されません。

2 キーワード入力欄を選ぶ▶●▶キーワードを入力する▶●

3 辞典の欄を選ぶ▶●▶利用する辞典を選ぶ▶●

4 [検索]

5 [はい]

- [はい(以後表示しない)]を選択すると、次回から確認画面は表示されません。
- ネットワークに接続され、検索結果が表示されます。

6 検索結果を選ぶ

- 検索結果を選ぶと、画面下部に詳細の一部が表示されます。

7 ●

- 詳細画面が表示されます。詳細画面に[さらに詳しく]と表示されているときは、[さらに詳しく]を選択するとサイトに接続して詳細を確認できます。

利用する辞典一覧を更新する

1 ネット辞典画面で[メニュー]▶[辞典更新]▶[はい]

- 操作ガイダンスに[メニュー]が表示されているときに[メニュー]▶[ヘルプ]を選択すると操作方法を確認できます。

■ モバイルGoogleマップ

地図を表示して、地域情報やお店情報、ユーザ作成コンテンツを簡単に探し出すことができます。また、航空写真モードに切り替えることや、ストリートビューを見ることができます。また、路線検索で目的地までの移動方法を調べ、目的地までのナビゲーションをすることもできます。

地図画面について

©2009 Google - 地図データ ©2009 ZENRIN

地図画面のボタン操作

メニューの表示	[i]
検索(地域のお店やサービスの情報、場所を検索して地図上に表示)	[カメラ]
カーソルの移動	✪
コンテキストメニュー(現在地の住所、ここまでの経路、ここからの経路、ストリートビュー、お気に入りに保存、付近を検索)	●
ズームアウト	[1]
地図/航空写真の切り替え	[2]
ズームイン	[3]
現在地の表示	[0]
お気に入りに保存/表示	[×]

- はじめて利用するときは、利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。本ソフトはパケ・ホーダイ/パケ・ホーダイフル/パケ・ホーダイ ダブルのご利用をおすすめいたします。
- 詳細はメニューの[ヘルプ]をご覧ください。

■ 日英版しゃべって翻訳 for SH

英語が苦手な方のためのコミュニケーションツールです。
FOMA端末に向かって話した日本語や英語の音声を文字に変換し、日本語を英語に、英語を日本語に翻訳してくれます。

- 初回利用時から60日間はおためし期間として、すべての機能を使用することができます。初回利用時から61日目以降は一部の機能を使用できません。61日目以降もすべての機能をお使いいただくには、株式会社ATR-Trekの「しゃべって翻訳」サイトからマイメニュー登録が必要です。
  iモードサイト：[iMenu]▶[メニューリスト]▶[辞書／学習／便利ツール]▶[辞書／翻訳]▶[しゃべって翻訳]
- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

ソフトを起動する

1 ソフト一覧画面で[日英しゃべって翻訳SH]

- 本アプリの説明や利用規約、注意事項が表示されます。利用規約に同意し、注意事項を確認してください。次回起動時に説明や利用規約を表示する旨のメッセージが表示されたときに[いいえ]を選択すると、次回起動時から表示されません。

2 [はい]▶[OK]

- タイトル画面が表示されます。
- はじめて起動したときは、チュートリアル画面が表示されます。チュートリアルが終了すると、タイトル画面が表示されます。次回起動時からは直接タイトル画面が表示されます。
- 表示される言語を切り替えるとき：📷

日本語を英語に翻訳する

1 タイトル画面で[日→英　翻訳]

- 英語を日本語に翻訳するとき：[英→日　翻訳]

2 ●▶画面の指示に従って、翻訳したい言葉を送話口に向かって話す▶●

- 翻訳中画面が表示されたあと、翻訳結果画面が表示されます。
- 発話は10秒以内で完了してください。約10秒経過すると、自動的に翻訳が開始されます。

3 翻訳文を選ぶ▶●

- 翻訳文全文表示画面が表示されます。
- 認識文を編集して翻訳し直すとき：認識文を選ぶ▶●▶認識文を編集▶●

利用するシーンに合う単語辞書を選択する

1 タイトル画面で[シーンを変更]

2 シーンの欄を選ぶ▶●

3 シーンを選ぶ▶●▶📳

- 画面の下に[＊キー：ヘルプ]と表示されているときに✉を押すと、各画面の詳細や操作方法などが表示されます。元の画面に戻るときは📳または✉を押します。
- 画面の下に[＃キー：メニュー]と表示されているときに#を押すとメニュー画面が表示され、会話したい相手に見せる依頼画面の表示や、履歴の表示、サウンドの設定などができます。
- 通信設定を[通信しない]にしている場合や、アイコン情報設定を[利用しない]にしている場合は、会員認証時や音声入力時にソフト設定確認画面が表示されます。[OK]を選択して本アプリを終了したあと、通信設定を[通信する]、アイコン情報設定を[利用する]に設定してご利用ください。

[チュートリアル]について

- チュートリアルでは、画面の指示に従って操作することで操作の練習ができます。チュートリアルは、タイトル画面で#▶[チュートリアル]を選択すると、何度でも利用できます。

■ いっしょにデコ

お互いのFOMA端末のマークをかざすだけで、一緒に撮影した静止画に2人でスタンプを貼ったり、線や文字を描いたりしてデコレーションできるiアプリタッチ(☞P.275)対応iアプリです。

- デコレーションした画像はデータBOXのマイピクチャのフォルダに保存することができます。
- 詳細は、メニューの[ヘルプ]をご覧ください。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

■ iアバターメーカー

iアバターメーカーでできること

アバターをつくる

iアバターメーカーに用意されたさまざまなパーツを利用して、アバターを作成することができます。カメラで撮影した写真やデータBOXに保存してある画像を見ながら作成することや、あらかじめ用意されたアバターの見本をもとに作成できます。

アバターをつかう

作成したアバターは、デコメール®、デコメ®絵文字、デコメアニメ®の素材や、iコンシェルに対応したマチキャラに変換して利用できます。

また、作成したアバターをiアバターサイトに登録することで、いろいろな洋服アイテムに着せ替えたり、コンテストや対応サイトで公開することができます。

©2009 Acrodea,Inc./
©eitarosoft

- アバターをデコメアニメ®やマチキャラに変換する際には別途パケット通信料がかかります。
- iアバターサイトにアバターを登録する際には別途パケット通信料がかかります。
- iアバターサイトで着せ替えを行うには、アイテム購入が必要な場合があります。
- iアバターは、株式会社ディーツーコミュニケーションズの商標です。
- アバターメーカーは、株式会社アクロディアの商標です。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

アバターを作成する

1 ソフト一覧画面で[iアバターメーカー]

- はじめて利用するときは、利用規約に同意する必要があります。利用規約に同意すると、デコメ®素材などを保存するフォルダの作成確認画面が表示されます。[はい]を選択し、フォルダ名を編集して●を押すと、データBOXのマイピクチャにフォルダが作成されます。次回起動時からは直接タイトル画面が表示されます。

2 [新規作成]

- 保存しているアバターを編集:[保存データ編集]▶編集するアバターを選ぶ▶●▶操作4へ

3 [はじめから作成]▶性別を選ぶ▶●

- [見本から選んで作成]を選択すると、男性、女性の各30種類の見本の中から顔を選んで作成することができます。
- [写真を見ながら作成]を選択すると、カメラで撮影した顔写真や、データBOXのマイピクチャ内の顔写真を参考にしてアバターを作成することができます。

4 項目とパーツを選ぶ

- 色を変えられるパーツの場合は、カラーパレットが表示されます。色を選択してください。
- 位置や大きさを変えられるパーツの場合は、✪で編集することができます。
  - 位置移動と拡大/縮小の切替:📷

5 i▶[名前をつけて保存]▶保存先を選ぶ▶●

6 [保存]

- アバター名の編集:アバター名欄を選ぶ▶●▶アバター名を編集する▶●

次ページへ続く▶▶

アバターをデコメール®やデコメ®絵文字の素材、アバターデータとして保存する

- 保存したアバターデータを読み込むときは、タイトル画面で[データ読み込み]を選択します。

1 タイトル画面で[保存データ出力]▶出力方法を選ぶ▶●▶アバターを選ぶ▶●▶[出力]

2 [はい]

3 フォルダを選ぶ▶📷▶[OK]

アバターをマチキャラやデコメアニメ®の素材にする

作成したアバターをサイトに送信すると、サイトからマチキャラやデコメアニメ®の素材としてダウンロードすることができます。タイトル画面で[保存データ出力]▶[マチキャラ]/[デコメ素材(アニメ)]を選択し、アバターを選んで送信してください。

- サイトに送信したデータはそれぞれ1つまで保存できます。保存期間は3日間です。

iアバターサイトにアバターを登録する

作成したアバターをiアバターサイトに送信し、Myアバターに設定することができます。タイトル画面で[保存データ出力]▶[Myアバター設定]を選択し、アバターを選んで設定してください。

- タイトル画面で📷を押すとヘルプが表示され、操作方法や注意事項を確認できます。
- 本アプリはバーチャルキーを利用できます(☞P.275)。バーチャルキーを利用するときはビューアポジションにしてください。

■ iD 設定アプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じてお店によって使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iD 設定アプリまたはカード発行会社が提供するカードアプリで設定を行う必要があります。なお、ご利用のカードによってはiD 設定アプリで設定のうえ、カードアプリの設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用(年会費など)は、カード発行会社により異なります。
- iD 設定アプリは削除できません。I Cオーナーを初期化する場合は、事前にiD 設定アプリの[設定メニュー]から[iDアプリ初期化]を行ってください。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- iDに関する情報については、iDのiモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト:[iMenu]▶[メニューリスト]▶[「iD」]

サイト接続用QRコード

■ DCMXクレジットアプリ

「DCMX」とは、「iD」に対応した、NTTドコモが提供するクレジットサービスです。

DCMXには、月々1万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMX/DCMX GOLDの各サービスがございます。

DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

アプリの機能

入会申し込み・審査※1 → カード情報設定

使う
面倒なチャージは不要！
カード情報設定済みのケータイを下のiDのマークがあるお店でかざすだけで、サインレス※2でショッピングが楽しめます。

確認する
DCMXのサービス内容や今月の利用可能額※3、ご利用明細などもアプリから確認！

変更する
機種変更の設定や有効期限の更新もアプリから設定可能！

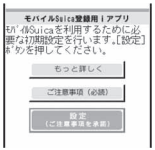
※1 DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。
また、DCMX mini以外のお申し込みについては、iモードのお申し込みページに接続します。
※2 一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。
※3 DCMX miniのみ可能です。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細については
DCMXのiモードサイトをご覧ください。
iモードサイト：[iMenu]▶[DCMX iD]

サイト接続用QRコード

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- カード情報設定が完了するまでは、ソフト一覧画面に[未設定]もしくは、[圜]が表示されます。ただし、ICカードロックを設定しているときは、カード情報設定が完了していなくても表示されません。
- 本アプリをはじめて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意のうえ、ご利用ください。
- 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

■ モバイルSuica登録用iアプリ



「モバイルSuica登録用iアプリ」は、JR東日本が提供するおサイフケータイ対応サービス「モバイルSuica」をご利用いただく前に必要な初期設定を行う、NTTドコモが提供するiアプリです。本アプリにて初期設定を行ったあと、画面に従ってJR東日本サイトからモバイルSuicaアプリをダウンロードし、会員登録を行ってください。

- はじめてご利用される際には、「ご注意事項（必読）」に承諾いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 本アプリは、初期設定が完了したあとに削除できますが、設定したICカード内エリアは占有された状態となります。当該エリアを他のサービスにご利用いただくためには、ICカード内のデータをすべて初期化（以下、フルフォーマット）していただく必要があります。
- フルフォーマットを実施するには、ドコモショップへのご来店が必要です。
- フルフォーマットを実施すると、ICカード内のすべてのデータが削除されます。
- フルフォーマットを行ったあとにモバイルSuicaサービスを再度ご利用になる場合は、本iアプリにて再度初期設定をしていただく必要があります。
- 「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- モバイルSuicaに関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
iモードサイト：[iMenu]▶[メニューリスト]▶[【生活情報】おサイフケータイ]▶[モバイルSuica]

■ FOMA通信環境確認アプリ

FOMA通信環境確認アプリとは、FOMA端末がFOMAハイスピードエリアを利用できるかどうかを確認するアプリです。

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用上の注意」に同意のうえ、ご利用ください。
- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示されることがあります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できないことがあります。

■ Gガイド番組表リモコン

テレビ番組表とAVリモコン機能が１つになった月額利用料が無料の便利なｉアプリです。
知りたい時間の地上デジタル、地上アナログ、もしくはBSデジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。また、番組表からワンセグを起動することができます。ワンセグから番組表を起動することもできます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーなどに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているDVDレコーダーなどが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。
さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワード、メイン画面上部のピックアップキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレーヤーのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。
横画面でも番組表の閲覧および操作が可能です（一部機能は横画面に対応しておりません）。

- リモコンの操作時の注意事項については☞P.364
- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の時刻を日本時間に合わせてください。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。
- Gガイド番組表リモコンの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

視聴予約機能について

本アプリの地上デジタル番組表で視聴したい番組を選択し、ワンセグの視聴予約をすることができます。

- **視聴予約の方法**

メイン画面で視聴予約したい番組を選び、メニューの[視聴予約]から[予約実行]を選択すると視聴予約画面が表示されますので、画面に従って視聴予約を行ってください。

録画予約機能について

本アプリの地上デジタル番組表で録画したい番組を選択し、ワンセグの録画予約をすることができます。

- **録画予約の方法**

メイン画面で録画予約したい番組を選び、メニューの[#ワンセグ録画予約]から[予約実行]を選択すると録画予約画面が表示されますので、画面に従って録画予約を行ってください。

- メイン画面で録画予約したい番組を選び、#を押しても録画予約をすることができます。

リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているDVDレコーダーなどをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

初期設定の方法

1 DVDレコーダーなどにインターネット接続の設定をする。

- ご利用のDVDレコーダーなどの取扱説明書をご確認ください。

2 メイン画面で[iアプリ]▶[リモート録画予約]

- ガイダンスに従って初期設定を進めてください。

番組予約の方法

初期設定が完了したあと、お好きな番組を指定してメニューから[リモート録画予約]を選ぶと、インターネット経由で本アプリで設定したDVDレコーダーなどと接続し、録画予約をすることができます。

- すでに同じ時間に予約されているときは、番組表にメッセージが表示されます。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

おすすめ情報をメールで受け取る

.TVメールを設定すると、キーワードに応じた番組情報をメールで受け取ることができます。メールから直接本アプリを起動したり、.TVメールサイトから番組検索結果を表示したりできます。

番組詳細情報について

放送局サイトや番組関連サイトへのリンクが表示されているときは、リンクを選んで●を押すと、サイトが表示されます。

■ 地図アプリ

SH-06Aに搭載されている地図・GPS機能を利用して、目的地を検索したり、交通手段によるルートを表示したりすることができる便利アプリです。

- 本アプリはモーショントラッキングに対応しています。
- クイック検索から起動することもできます(☞P.387)。
- 「地図アプリ」の操作方法については☞P.311

■ マクドナルド トクするアプリ

マクドナルドの新商品など、おすすめ情報をいち早くチェックできます。マクドナルドで使える割引クーポン「かざすクーポン」をダウンロードして使うことができます。

「かざすクーポン」のご利用は「トクするケータイサイト」への会員登録後、アプリからお好みのクーポンを選択・設定し、マクドナルドの店頭に設置されている読み取り機にかざしてご利用ください。

©2009 McDonald's

- 「マクドナルド トクするアプリ」に関する情報はマクドナルド公式サイト「トクするケータイサイト」をご覧ください。
  iモードサイト:[iMenu]▶[メニューリスト]▶[グルメ/レシピ]▶[マクドナルドトクする]
- 「かざすクーポン」はご利用いただけない店舗があります。
  「かざすクーポン」が使えない地域では、「見せるクーポン」をご利用いただけます。
- 「おすすめ情報」は「トクするケータイサイト」の非会員でもご覧いただけます。
- 「マクドナルド トクするアプリ」の機能やサービス内容は、変更されることがあります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「かざすクーポン」の利用方法

本アプリを起動
↓
クーポンと使用枚数を選ぶ
↓
「決定」を押してクーポン情報を設定完了
↓
店頭の読み取り機にかざして注文

次ページへ続く▶▶

ウィジェットアプリ対応☞P.293
マクドナルドの「おすすめ情報」が更新されると、ウィジェットアプリのマクドナルドの看板が回転してお知らせします。看板を選択するとおすすめ情報が表示されます。
おすすめ情報の「もっと詳しく<ボタン」を押すとより詳しい情報を見ることができます。

■ 楽オク☆アプリ

「楽オク☆アプリ」は、楽オクにいつでもどこでも簡単に出品できる便利なアプリです。
出品操作はガイド表示付きで、「体験出品」もできるのでオークションがはじめてという方でも安心して使えます。説明文が簡単に作れる「かんたん入力」機能や写真撮影・編集、履歴の保存など便利な機能もたくさんあるので、サイトからの出品よりも時間がかからずに出品することができます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 楽オクの詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録とマイメニュー登録が必要になります。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- 楽オクに関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：[iMenu]▶[オークション]

サイト接続用QRコード

ウィジェットアプリ対応☞P.293
楽オクのおすすめ商品や自分で出品・入札した商品の情報が表示されるので、気になるオークションの状況が簡単に確認できます。

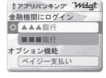
■ iアプリバンキング

iアプリバンキングとは、FOMA端末からモバイルバンキング（ご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込・振替など）を、便利にご利用いただくためのiアプリです。iアプリを起動する際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。ペイジーによる請求書・納付書のお支払いも可能です。

- iアプリバンキングでモバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関へのインターネットバンキングサービスの利用申し込みが必要です。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 画面はイメージです。実際の画面と異なることがあります。
- iアプリバンキングの詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
- iアプリバンキングに関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：[iMenu]▶[メニューリスト]▶[モバイルバンキング]▶[iアプリバンキング]

サイト接続用QRコード

ウィジェットアプリ対応☞P.293
iアプリバンキングウィジェットでは、ウィジェット上でパスワードを入力するだけで簡単にiアプリバンキングを起動することができ、ご自身の登録している金融機関やオプション機能の利用がより便利に行えます。



■ Start! i ウィジェット

「Start! i ウィジェット」は、i ウィジェットの使い方をムービーで見ることのできるアプリです。
また、i モードに接続して、FOMA端末に保存されているもの以外のアプリをダウンロードできるサイトを表示することもできます。

- 「ダウンロード」を選択し、i モードに接続する際は、別途パケット通信料がかかります。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

■ SH-MODE INFO

「SH-MODE INFO」は、i ウィジェットにて i Menu内のサイト［SH-MODE］の更新情報を確認したり、サイト内の各コンテンツへ直接接続することができるアプリです。

- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

■ iWウォッチ

「iWウォッチ」は、i ウィジェットにてグラフィカルに時計や電池残量を確認することができるアプリです。
デザインや色は、お好みに応じて変更することが可能です。

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

■ 株価アプリ

- 指数の種別（日経225／TOPIX／ヘラクレス指数）
- チャート
- 指数の現在値
- 指数の前日比

「株価アプリ」は、i ウィジェットにて株価情報を簡単に見ることのできるアプリです。
表示できる株価情報は、「日経225／TOPIX／ヘラクレス指数」の３指数になります。
それぞれの指数の現在値および前日比を表示することが可能です。
また、チャート情報についても、「日中足／日足／週足／月足」と切り替えることができます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 指数の現在値については、約20分遅れの情報となります。
- 本アプリの情報は株式など売買および売買の支援をするものではありません。
- 本アプリの情報の内容につきましては万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。
  万一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社および情報提供者は一切責任を負いかねます。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

■ Google モバイル

「Google モバイル」は、モバイルWeb検索機能が利用できるアプリです。過去に入力した検索ワードや、トレンド急上昇中のワードの入力も簡単にできるので便利です。
また、メールサービス（Gmail）、乗り換え案内などの便利なGoogleサービスを簡単に呼び出すことができます。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

■ ROID ウィジェット

「ROID ウィジェット」は、ロイ君と呼ばれるキャラクターが、モバイルサイト「ROID」の更新情報（体験版の情報／動画の情報／サイトの更新など）を紹介してくれるウィジェットアプリです。
ロイ君の動きやコメントはモバイルサイト「ROID」の更新情報によって楽しく変化します。「ROID ウィジェット」からモバイルサイト「ROID」に遷移することで、更新情報の詳細を見ることができます。

©team ROID

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- お買い上げ時、登録されているソフトの各機能は次のように設定されています。ソフト一覧のサブメニューから設定を変更できます。

ソフト	お買い上げ時の設定
西村京太郎サスペンス 新探偵シリーズ「京都・熱海・絶海の孤島 殺意の罠」	通信設定：通信する アイコン情報設定：利用する
ネット辞典	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する アイコン情報設定：利用する
モバイルGoogleマップ	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する アイコン情報設定：利用する 電話帳／履歴参照：許可する 位置情報利用設定：利用する
日英版しゃべって翻訳 for SH	通信設定：通信する アイコン情報設定：利用する
いっしょにデコ	通信設定：通信する
ｉアバターメーカー	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する
iD 設定アプリ	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する
DCMXクレジットアプリ	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する
モバイルSuica登録用ｉアプリ	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する
FOMA通信環境確認アプリ	アイコン情報設定：利用する
Gガイド番組表リモコン	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する
地図アプリ	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する アイコン情報設定：利用する 電話帳／履歴参照：許可する 位置情報利用設定：利用する
マクドナルド トクするアプリ	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する
楽オク☆アプリ	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する アイコン情報設定：利用する
ｉアプリバンキング	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する
Start! ｉウィジェット	－
SH-MODE INFO	通信設定：通信する
iWウォッチ	アイコン情報設定：利用する
株価アプリ	通信設定：通信する
Google モバイル	通信設定：通信する アイコン情報設定：利用する
ROID ウィジェット	通信設定：通信する

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意

- ＩＣカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

iアプリを自動実行する

iアプリを自動起動する方法は3通りあります。

iアプリDXからの設定による自動起動	有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定します。
ソフト自体の機能による自動起動	あらかじめソフトに組み込まれている自動起動の動作です。有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定して、自動起動するソフトを登録します。9件まで登録できます。
FOMA端末の設定による自動起動	FOMA端末に保存されているiアプリに対して、時刻・日付・曜日を指定して自動起動を設定します。有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定して、スケジュールを設定します。9件まで登録できます。

- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください(☞P.56)。

自動起動をする<自動起動設定>

1 カスタムメニューで[iアプリ]▶[iアプリ設定]▶[自動起動設定]

2 設定を選ぶ▶●

- 自動起動できなかったときは、自動起動失敗履歴に記憶されます(電源が入っているときのみ)。
- 次の場合は自動起動できません。
  - ■ 電源が入っていないとき
  - ■ iアプリが起動中のとき
  - ■ 他の機能が起動しているとき
  - ■ 通話中
  - ■ 自動起動とアラーム(アラーム/スケジュール/視聴予約/録画予約)を同じ時刻に設定しているとき
  - ■ iアプリ/iウィジェットの機能別ロック中
  - ■ 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときに、メール連動型iアプリを自動起動設定しているとき
  - ■ FOMAカードが挿入されていないとき
  - ■ 自動起動を設定しているアプリをダウンロードしたときと異なるFOMAカードを挿入しているとき
- ウィジェットアプリは自動起動設定できません。
- 同じ時刻に設定した以下の機能は次の優先順位で動作します。

	優先順位(高→低)
機能	自動電源OFF→自動電源ON→アラーム→iアプリ自動起動

- 設定リセットを行うと、自動起動失敗履歴が削除され、iアプリの自動起動設定は解除されます。
- 同一ソフトの自動起動が前回の自動起動から10分未満のとき、起動できません。自動起動する間隔を10分以上に設定してください。自動起動失敗履歴には[起動エラー]と表示されます。

■ FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する

1 カスタムメニューで[iアプリ]▶[iアプリ設定]▶[自動起動設定]▶[詳細設定]

2 番号を選ぶ

- 新規に登録:[----------]が表示されている番号を選ぶ▶●
- 設定の変更:変更する番号を選ぶ▶●▶[変更]
- 設定の削除:削除する番号を選ぶ▶●▶[削除]

3 ソフトを選ぶ▶●

4 設定する

- ◆ **[デイリー]▶時刻(24時間制)を入力▶●**
- ◆ **[曜日設定]▶曜日を選ぶ▶●▶📷▶時刻(24時間制)を入力▶●**
- ◆ **[日付設定]▶日付・時刻(24時間制)を入力▶●**

■ 自動起動対応のソフトの設定を有効にする

1 「FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する」の操作1～3を行う▶[時間間隔設定]

- 無効にするときは「FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する」で設定を削除します。
- 自動起動設定がないソフトのときは選択できません。

iアプリコールを利用する

送信して招集する<招集>

iアプリからの操作で相手を招集します。

- 操作方法はiアプリのソフトによって異なります。

受信したときは<受信>

iアプリの招集が行われると、iアプリコールを受信します。応答すると該当のiアプリが自動起動します。

- IP(情報サービス提供者)から招集が行われる場合もあります。

1 受信終了後、iアプリコール応答確認画面が表示され、着信音が鳴る([ ]表示)

- iアプリコール応答確認画面で約15秒間何も操作しなかったり、他の機能を起動中にiアプリコールを受信した場合、待受画面に[ ]とストックアイコン[ ](iアプリコールあり)が表示されます。iアプリコール履歴には[保留中]として記憶されます。

2 [応答する]▶●

- 拒否する:[拒否する]▶●
- 保留する:[保留する]▶●

3 iアプリ自動起動

- 該当するiアプリがない場合、ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選ぶとダウンロードできます。

- [保留する]を選んだときは、有効期限内にiアプリコール履歴から応答することができます。
- iアプリコールによっては、応答確認画面を表示せず、iアプリを自動起動することがあります。
- iアプリコール受信時の着信動作(着信音、バイブレータ、ランプ)は、SMSの設定に従います。
- iアプリコールに応答した場合、パケット通信料がかかることがあります

履歴を確認する<iアプリコール履歴>

- 最新の履歴から30件まで記憶されます。

1 カスタムメニューで[iアプリ]▶[iアプリコール履歴]

- ストックアイコン[ ](iアプリコールあり)が表示されているとき:待受画面で●▶ストックアイコン[ ](iアプリコールあり)を選ぶ▶●
- iアプリコールに応答する:保留中の履歴を選ぶ▶●▶[応答する]▶●
- 履歴を1件削除:履歴を選ぶ▶ ▶[はい]▶●
- 履歴を全件削除: ▶[はい]▶●

- 次の場合はiアプリコール履歴に記憶されません。
  - 該当するiアプリのソフト利用設定で、iアプリコール設定を[設定しない]に設定しているとき
  - 該当するiアプリがなく、iアプリコールDL設定を[拒否する]に設定しているとき
- 設定リセットを行うと、iアプリコール履歴は削除されます。

iアプリコールの設定を行う

- iアプリコール一括拒否設定の詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

iアプリコールからのダウンロードを拒否するかどうかを設定する<iアプリコールDL設定>

1 カスタムメニューで[iアプリ]▶[iアプリ設定]▶[iアプリコールDL設定]

2 設定を選ぶ▶●

iアプリTo機能

サイトやiモードメールからiアプリを実行する

iアプリTo(iアプリ起動設定)が設定されているとき、サイト、iモードメール、メッセージR/F、画面メモやトルカからiアプリを起動できます。

- 次の方法でiアプリ起動の信号を受信したときや読み取ったときでもiアプリを起動できます。
  - ■ 赤外線通信　■ マークを読み取り機にかざしたとき
  - ■ バーコードリーダー
- iアプリToを許可するかどうかは、iアプリTo設定で設定します(P.274)。

サイトやiモードメールからiアプリを起動する <iアプリTo機能>

- iアプリ待受画面として起動することはできません。
- フルブラウザでは起動できません。

1 サイトやメール、メッセージR/F、画面メモ、トルカを表示中にiアプリを選ぶ▶●▶[はい]

- 起動の中止:[iアプリ起動中]と表示中に▶[はい]

- iアプリを終了すると、元のサイトや受信メール詳細画面、画面メモやトルカ表示画面に戻ります。
- iアプリの起動指定に該当するソフトがないときは、[指定されたソフトがありません]と表示されます。
- サイトによっては、指定のソフトがFOMA端末に保存されていない場合や、FOMA端末に保存されているソフトのバージョンが古い場合に、ソフトをダウンロードまたはバージョンアップできるときがあります。
- 実行中に通信設定(P.274)が必要なときもあります。
- iモードメールからのiアプリToは、IP(情報サービス提供者)からのiモードメール配信で利用する機能です。FOMA端末どうしではご利用になれません。

iアプリ待受設定

iアプリ待受画面を設定する

- 待受画面に設定したiアプリは、CLRを押すと操作できるようになります。iアプリ待受画面設定は解除されず、待受画面に戻ったときにiアプリ待受画面が再起動します。
- iアプリ待受設定されたソフトから通信するかどうかは、待受画面通信設定(P.272)で設定できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[画面設定]▶[待受画面設定]▶[待受画面(縦)]▶[iアプリ]

2 ソフトを選ぶ▶●

- 通信を利用するソフトを設定したときは、通信を許可するかどうかの選択画面が表示されます。[通信する]を選択すると通信が許可されます。[通信しない]を選択すると通信が許可されず、情報提供ができない場合がありますので、ご注意ください。
- 設定中のiアプリを設定し直す:[設定]▶ソフトを選ぶ▶●▶[はい]
- 設定中のiアプリを終了:[終了]
- 設定中のiアプリを解除:[解除]

- iアプリ待受画面に設定できるソフトは1つのみです。
- iアプリ待受画面に設定できないソフトもあります。
- iアプリ待受画面を設定しているとき、待受画面にはiアプリが表示されます。画面設定の待受画面設定で設定した画像は表示されません。iアプリ待受画面設定を解除すると、画面設定の待受画面設定で設定した画像が表示されます。
- iアプリ待受画面からのWeb To機能はご利用になれません。
- 通信を行うソフトをiアプリ待受画面に設定したときは、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- iアプリ待受画面表示中にオールロックを設定すると、iアプリ待受画面は終了し、[待受画面1]が表示されます。
- iアプリ待受画面は、ビューアポジションにすると中断されます。通常ポジションに戻すと再開されます。

次ページへ続く▶▶

- iアプリDXをiアプリ待受画面に設定したとき、iアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するため、通信設定にかかわらず通信するものがあります。
- iアプリ待受画面を設定しているときは、電源を入れるとiアプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。[はい]を選択するか、約5秒そのままにしておくと、iアプリ待受画面が起動します。[いいえ]を選択すると、通常の待受画面になり、iアプリ待受画面の設定が解除されます。ただし、自動電源ONで電源を入れたときは確認画面が表示されず、待受画面に戻ると起動します。
- 2in1のモードを[デュアルモード]または[Bモード]に設定しているとき、iアプリ待受画面は利用できません。
- 次の操作を行うと待受画面のiアプリはいったん終了します。
  - ■ カメラ機能
  - ■ データBOX機能
  - ■ iモード機能
  - ■ メール機能
  - ■ テレビ電話
  - ■ 電話帳お預かりサービス
  - ■ iアプリの設定の変更
  - ■ iモーションの再生
  - ■ トルカ機能
  - ■ ソフトウェアの更新
  - ■ iC送信
  - ■ 赤外線通信
  - ■ Bluetooth通信
  - ■ iアプリのダウンロード
  - ■ iアプリの起動
  - ■ マンガ・ブックリーダー
  - ■ ドキュメントビューア
  - ■ PDF対応ビューア
  - ■ ワンセグ
  - ■ パターンデータの更新
  - ■ 2in1の設定の変更（モード切替、2in1機能のON／OFF切替）
  - ■ iウィジェット画面の表示

[セキュリティエラー]について

- iアプリ待受画面を設定している場合、iアプリが不正な動作をしようとしたときやiアプリが許可されている機能以外の動作をしようとしたときは、iアプリ待受画面は解除されます。
- iアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生したとき、エラー発生時刻などがエラー履歴に記憶、表示されます。通常終了時には記憶されません。待受画面に[セキュリティエラー]と表示されているときは、●を押すと、エラー履歴が表示されます。

iアプリを管理する

FOMA端末に保存したiアプリのバージョンアップを行ったり、実行時のエラー情報やトレース情報の表示などを行うことができます。

- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。そのときは、そのソフトの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細表示のみが可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信するときがあります。
- このようにIP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信したとき、携帯電話は通信を行い、iモードアイコンが点滅します。

■ バージョンアップする<バージョンアップ>

FOMA端末に保存済みのソフトがサイト側で新しいバージョンに更新されているときに、バージョンアップできます。

1 ソフト一覧画面でソフトを選ぶ▶📷▶[バージョンアップ]▶[はい]

- ソフトの情報が表示されたとき：●

- FOMA端末（本体）のメモリの空き容量がないときは、バージョンアップできません。他のソフトまたはiアプリとメモリエリアを共有しているデータBOXのデータを削除してください。
- おサイフケータイ対応iアプリによっては、ICカードロック中、ダウンロードやバージョンアップができないときがあります。
- メールの機能別ロック中、メールフォルダ名を変更するメール連動型ソフトはバージョンアップできません。

■ エラー情報を表示する<情報表示>

ソフト実行時のエラー情報（[自動起動失敗履歴]、[強制終了履歴]、[セキュリティエラー履歴]）を確認できます。

1 カスタムメニューで[ｉアプリ]▶[情報表示]

2 エラー履歴を選ぶ▶●

■ トレース情報を表示する<トレース表示>

1 カスタムメニューで[ｉアプリ]▶[情報表示]▶[トレース表示]

- トレース情報がないときは、[トレース情報がありません]と表示されます。
- トレース情報の削除：i▶[はい]

ｉアプリ作成者の方へ

- 作成したｉアプリが正常な動作をしないときは、トレース情報の内容が参考になることがあります。
- トレースを採取するように設定されているソフトがないときは、トレース情報が表示されません。

ｉアプリ使用データ（コンテンツ移行対応）

microSDカード内のｉアプリ使用データを表示する

- ｉアプリ使用データフォルダを削除したり、選択したフォルダの詳細情報を表示することができます。
- 詳細情報には、利用可能ソフト／CP名、フォルダ利用可／不可、利用不可原因が表示されます。
- フォルダの利用不可原因は次のとおりです。
  - ソフト動作制限[あり]：保存されたデータを使用するソフトがないため利用できません。
  - FOMAカードセキュリティ（動作制限）[あり]：保存したときと異なるFOMAカードが挿入されているため利用できません。
  - 機種制限[あり]：保存したときと異なる機種のため利用できません。
  - シリーズ制限[あり]：FOMA端末のシリーズが、保存したときのシリーズと異なるため利用できません。

1 カスタムメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ使用データ]

- フォルダの１件削除：フォルダを選ぶ▶📷▶[はい]
- 情報の表示：i

- 同時に起動している他の機能がmicroSDカードを使用しているときは、ｉアプリ使用データのフォルダを表示できません。他の機能を終了してから操作してください。

ｉアプリのさまざまな機能を利用する

- 利用するソフトによって、操作方法が異なったり、操作できないときがあります。

サイトを表示する

- サイト表示に対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- URLが半角の英数字や記号で255文字を超えるサイトは表示できません。

1 ソフト実行中に、URLの項目を選ぶ▶●▶[はい]

電話をかける

実行中のソフトから、音声電話、テレビ電話を利用することができます。

- 音声電話、テレビ電話を利用することに対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- ダイヤル発信制限中、セルフモード中は、電話をかけることができません。

1 ソフト実行中に、電話番号の項目を選ぶ▶●

2 電話をかける

- 音声電話：📞／●▶[はい]
- テレビ電話：i▶[はい]

カメラ機能を利用する

● iアプリからカメラを起動したとき、撮影した画像はiアプリの一部として保存、利用されます。

1 ソフト実行中に、カメラの起動項目を選ぶ▶●

- カメラモードになります。明るさを調整したり、セルフタイマー、ズームを利用できます。
- ソフトから[画像サイズ]や[連続撮影]、[画質]、[フレーム]などの設定ができるものもあります。

2 ●

- 保存:●

● ソフトによってはiアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどを、自動的にインターネットを経由して送信することがあります。iアプリで利用する画像とは、実行中のiアプリが、カメラ機能を起動して撮影した画像、データBOXのマイピクチャから選択した画像および赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。

バーコードリーダーを利用する

1 ソフト実行中に、バーコードリーダーの起動項目を選ぶ▶●

- カメラモード(バーコードリーダー)になります。

2 バーコード(JANコード、QRコード、CODE128)が表示されるようにカメラを合わせる▶●

- バーコード(JANコード、QRコード、CODE128)が撮影されます。

● CODE128を読み取るには、対応しているiアプリのソフトをダウンロードする必要があります。
● 読み取ったデータは、iアプリで利用・保存されます。

トルカを保存する

1 ソフト実行中に、トルカの保存項目を選ぶ▶●

2 プレビュー表示／保存する

- **[プレビュー]**
- **[新規保存]▶フォルダを選ぶ▶●**
- **[上書き保存]▶データを選ぶ▶●▶[i]**

アラームを登録する

● [時刻入力]と[繰り返し設定]は、iアプリにより入力されています。

1 ソフト実行中に、アラーム登録項目を選ぶ▶●▶●

2 登録する番号を選ぶ▶●

3 アラームを登録する

- アラームの登録については☞P.379

位置情報を利用する

1 ソフト実行中に、位置情報の項目を選ぶ▶●▶[はい]

2 位置履歴一覧から位置情報を選ぶ▶●

● 電話帳を参照できるiアプリの場合、登録されている位置情報を利用できます。

赤外線通信機能／iC通信機能を利用する

● セルフモード中は、利用することはできません。

1 ソフト実行中に、赤外線通信／iC通信を起動する▶[はい]

- 通信の中止:[C]

iウィジェット

iウィジェットとは電卓、時計や、株価情報など頻繁に利用するコンテンツ(ウィジェットアプリ)にiウィジェットボタン(○)1つでアクセスできる便利な機能です。
ウィジェットアプリはIP(情報サービス提供者)などが提供するサイトからダウンロードすることにより追加できます。また、iウィジェット画面には最大8つのウィジェットアプリを貼り付けることができ、より自分仕様の画面にすることができます。

- iウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。
- ウィジェットアプリをダウンロードする場合、iウィジェット画面を表示する場合などは別途パケット通信料がかかります。
- iウィジェットの詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

地図アプリ	☞P.283
マクドナルドトクするアプリ	☞P.283
楽オク☆アプリ	☞P.284
iアプリバンキング	☞P.284
Start! iウィジェット	☞P.285
SH-MODE INFO	☞P.285
iWウォッチ	☞P.285
株価アプリ	☞P.285
Google モバイル	☞P.285
ROID ウィジェット	☞P.286

iウィジェットを利用する

- 最大8個のウィジェットアプリを貼り付けることができます。
- iウィジェット画面にウィジェットアプリが1つも貼り付けられていない状態で、iウィジェットを起動すると、ウィジェットアプリ一覧画面が表示されます。ウィジェットアプリの貼り付けについては☞P.294

iウィジェットを起動する<起動>

1 待受画面で○

- ビューアポジションのときは、待受画面で上にすばや<スライドすると起動でき、タッチパネルで操作できます。

- iウィジェット画面で、約3分間何も操作しないと、自動的に待受画面に戻ります。なお、特定のウィジェットアプリを起動して利用しているときには、自動的に待受画面に戻りません。
- iウィジェット起動中はマルチアシスタントを利用できません。
- 挿入していたFOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、貼り付けたウィジェットアプリのうち、起動可能なウィジェットアプリのみ貼り付けられた状態となります。

iウィジェットをシャッフルする<シャッフル>

ウィジェットアプリの貼り付け位置をランダムに変更します。

1 iウィジェット画面で[カメラ]

iウィジェットの設定を行う

ローミング中にiウィジェットの通信を行うかどうかを設定する<iウィジェットローミング設定>

1 カスタムメニューで[iアプリ]▶[iアプリ設定]▶[iウィジェットローミング設定]

2 設定を選ぶ▶●

iウィジェットの効果音を鳴らすかどうかを設定する＜iウィジェット効果音＞

1 カスタムメニューで[iアプリ]▶[iアプリ設定]▶[iウィジェット効果音]

2 設定を選ぶ▶●

ウィジェットアプリ起動

ウィジェットアプリを起動する

ウィジェットアプリを起動します。作業終了後、iウィジェット画面に貼り付けると、次回すぐに利用できます。

1 待受画面で○

- iウィジェット画面が表示されます。他のウィジェットアプリを起動するときは、[i]を押してウィジェットアプリ一覧画面を表示します。
- ダウンロード後48時間以内のウィジェットアプリには[**NEW**]が表示されます。
- iアプリのソフト一覧画面で、iウィジェット対応ソフトを選び●を押してもウィジェットアプリを起動できます。
- ビューアポジションのときは、待受画面で上にすばやく＜スライドすると起動でき、タッチパネルで操作できます。

ウィジェット
アプリ一覧画面

2 ウィジェットアプリを選ぶ▶●

- ウィジェットアプリが起動します。

3 ✉／CLR

- iウィジェット画面にウィジェットアプリが貼り付けられます。
- ウィジェットアプリを終了：▭▶[YES]

■貼り付けたウィジェットアプリを起動／終了する

1 待受画面で○

- ビューアポジションのときは、待受画面で上にすばやく＜スライドすると起動でき、タッチパネルで操作できます。

2 ウィジェットアプリを選ぶ▶●

- 以降の操作方法はウィジェットアプリのソフトによって異なります。
- iウィジェット画面に戻る：✉
- ウィジェットアプリを終了：▭▶[YES]
  - ・ウィジェットアプリを終了すると、貼り付けが解除されます。
- iウィジェットを終了：↩▶[YES]

- 8個のウィジェットアプリが貼り付けられた状態で、ウィジェットアプリを変更する場合は、一度不要なウィジェットアプリを終了させてから、ウィジェットアプリ一覧画面より選択してください。
- ソフトによっては、ウィジェットアプリからiアプリに切り替えたり、iアプリからウィジェットアプリに切り替えることができます。
- ウィジェットアプリはバーチャルキーを利用できます(☞P.275)。バーチャルキーを利用するときはビューアポジションにしてください。

ウィジェットアプリをダウンロードする

サイトからウィジェットアプリのソフトをダウンロードできます。

1 サイト表示中にソフトを選ぶ▶●

- iアプリダウンロード画面が表示され、ダウンロードが開始されます。
- ダウンロードの中止：[i]
- ダウンロード方法の詳細については☞P.270